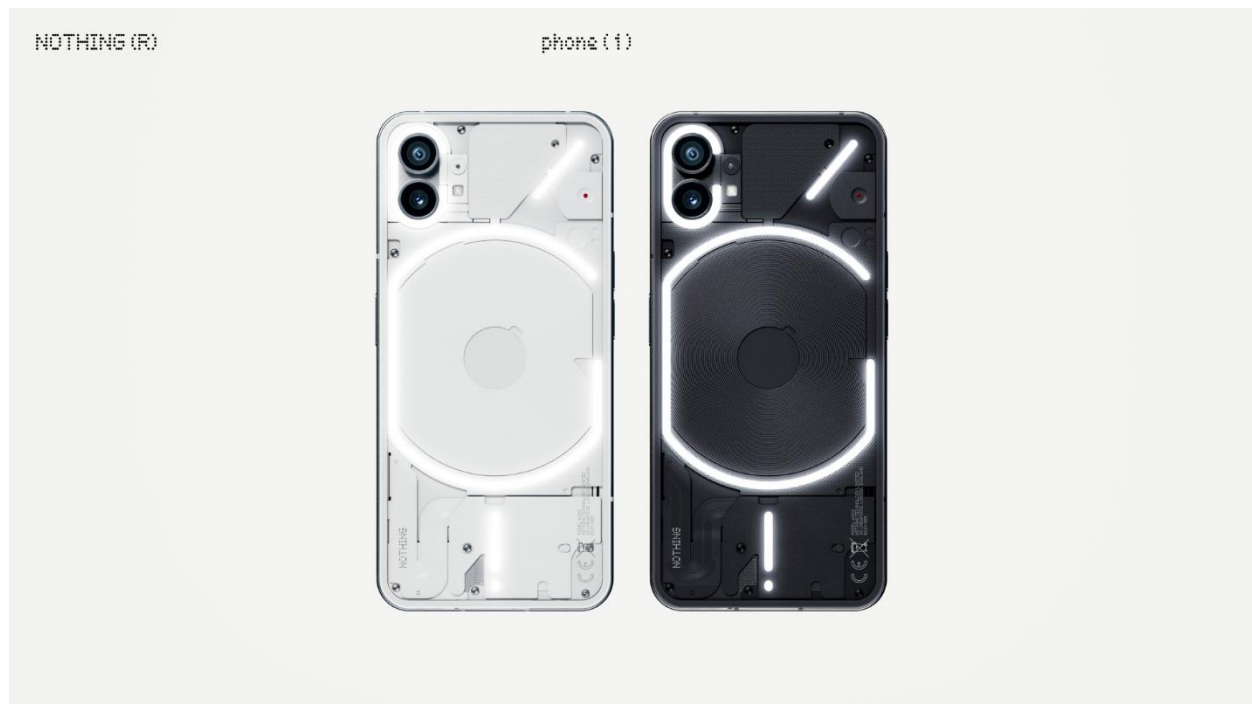


Nothing Phone (1)を発表、8月に日本上陸決定

直感的なデザインで、日常のコミュニケーションに喜びを取り戻す。

Glyph Interface、完全な OS、優れた 50MP デュアルカメラ。

全てが驚愕的な速さ。



本日、英国のコンシューマー・テクノロジー・ブランド Nothing は、ブランド初のスマートフォンであり、将来に繋が
りオープンな同社の製品エコシステムへの入り口となる Phone (1)を発表しました。革新的な Glyph
Interface、50MP デュアルカメラ、洗練された Nothing OS、120Hz 有機 EL ディスプレイ、
Qualcomm® Snapdragon™ 778G+チップセットを搭載した Nothing Phone (1)は、スピーディーでス
ムーズな体験を 399 ポンド（※現地価格）より提供します。現在、全世界で 20 万台以上の先行予約待
ちとなっており、米国 StockX にて 100 台限定でオークションを行い、最高額は 3000 ドルにて落札されるな
ど、ここ数年で最も期待されているハイテク製品の 1 つとなっています。

なお、日本では 8 月より販売開始します。

Nothing の CEO 兼共同創設者である Carl Pei（カール・ペイ） は、「Phone (1) は、友人や家族に
自慢したくなるような製品としてデザインしました。このシンプルで指針のおかげで、私たちは道を踏み外すことも

無く、直感を働かせ、停滞する業界に変化をもたらすような体験を生み出すことに繋がったのです。」とコメントしています。

Glyph Interface

Glyph Interface は、スクリーンタイムを最小限に抑えるための新しいコミュニケーションツールです。900 個の LED で構成されたユニークな光のパターンは、着信先やアプリの通知、充電状況などを知らせます。着信音に個別の連絡先をペアリングするだけで、それぞれユニークな Glyph パターンで設定ができるため、本当に重要な通知を見逃すことはありません。

Flip to Glyph 機能は、背面の Glyph Interface を上にして Nothing Phone (1)を置くと、通知音がオフになり、照明だけで通知されるようになる機能です。

配慮されたデザイン

表層だけではないデザイン

Nothing Phone (1)は、400 以上の部品で構成されたユニークなデザインの透明な背面が特徴です。100%リサイクルされたアルミニウムのフレームは軽量かつ堅牢で、プラスチック部品の 50%以上にバイオベースまたはポストコンシューマーリサイクル材料が使用されており、これは業界トップクラスの割合です。

強靭な Dual-side Gorilla® Glass 5 がタフネスを提供。そして、先進の振動モーターがリアルなタッチレスポンスを実現します。左右対称のベゼルとアルミニウムのフレームが、エレガントで軽快なデザインと耐久性を実現しています。

洗練された Nothing OS

Nothing OS は、Android のベストだけを提供します。プロトウェアは無く、純粹にスピーディーでスムーズなユーザーエクスペリエンスを提供します。ハードウェアとソフトウェアは、ウィジェット、フォント、サウンド、壁紙など、すべて自社でデザインされ、統一されたビジュアル言語を使用しています。

Nothing Ecosystem は、あなたのお気に入りのテクノロジーがすべて集まる場所です。もう、別々のアプリを使う必要はありません。Tesla をはじめとするサードパーティ製品も、Phone (1)のクイック設定で Nothing 製品と同じように簡単にコントロールできるようになります。ドアのロック解除、エアコンの操作、走行距離の確認など、さまざまな操作が可能です。その他のサードパーティブランドの統合は、近日中に発表の予定です。

スマートソフトウェアが、お気に入りのアプリケーションを学習し、バッテリーの使用状況を調整します。最もよく使うアプリは超高速でロードし、使用頻度の低いアプリはバッテリーを節約するためにフリーズされます。

NFT Gallery（ウィジェット）で、NFT コレクションを表示すると、Nothing Phone (1) のホーム画面から直接フロアプライスを追跡できます。

先進のデュアルカメラ

「カメラが多ければ写真や動画の画質が良くなるという考えから、そろそろ解き放たれるべきだ」。Nothing Phone (1)のデュアルカメラは、2つの先進的な 50MP センサーを搭載し、メインカメラにはフラッグシップモデルの Sony IMX766 が採用されています。広い $f/1.8$ 開口部、デュアルイメージスタビライゼーションと 10 ビットカラービデオは、非常に安定し、忠実度が高く、鮮やかに詳細なコンテンツを撮影するために必要なすべてを提供します。ナイトモードやシーン検出などのインテリジェントな機能は、すべてのフレームに完璧な設定を調整し、あなたに代わって作業します。

さらに、Glyph Interface をフル輝度に設定することで、近接した被写体を優しく照らします。フラッシュを使わないポータブルなリングライトです。

美しいディスプレイ

10 億色の色彩。6.55 型有機 EL ディスプレイと HDR10+ で、あらゆる色相を力強く忠実に再現します。豊かな色彩と深いコントラストは、それぞれのシーンに合わせて調整。リフレッシュレートは 120Hz で、驚くほどの応答性を実現し、電力効率にも優れています。

パワフルなパフォーマンス

パワフルで信頼性の高い Qualcomm® Snapdragon™ 778G+ チップセットを採用することで、Nothing Phone (1)の驚くべきスピードを実現。ワイヤレス充電とリバースチャージは、Nothing のためにカスタムメイドされています。驚異的なグラフィックスと高度なカメラ機能は、すべてが 5G でさらに加速されています。Game Mode では、サウンドとグラフィックを正確にマッチングし、通知を最小限に抑えることで、ゲームをより魅力的に、そして没入感を高めることでさらにゲームをお楽しみいただけます。

高速充電とワイヤレス充電。1 回の充電で 18 時間、スタンバイで 2 日間使用できます。わずか 30 分で 50%まで充電ができます。5W のリバースチャージで Nothing ear (1)などのアクセサリに電力を供給します。逆充電時は、充電コイル Glyph が点灯します。

発売時期・価格

Nothing Phone (1)は、ホワイトとブラックの2色展開で、8GB+128GB、8GB+256GB、12GB+256GB（晩夏発売）の3モデルから選べます。

Nothing Phone (1)は、英国、ヨーロッパを含む40以上の国と地域で主に nothing.tech と一部のキャリアショップで7月21日（木）からオープン販売します。

日本での発売は8月。いよいよ日本に上陸します。8GB+256GBのモデルで価格は69,800円（税込）です。（※7月13日時点）その他の価格や詳細な発売日、販売方法は後日発表します。

仕様や機能の一覧は、nothing.tech でご覧いただけます。

最新情報は、[Instagram](#) や [Discord](#)、[Twitter](#) で Nothing をフォローしていただくか、ニュースレターを購読することでご確認いただけます。

Nothing について

Nothing は、技術を再び楽しくするためにあります。創造性を刺激し、コミュニティと一緒に未来を作る。象徴的なハイテク製品のエコシステムを構築することで、Nothing は、業界に芸術性と情熱を取り戻すことを目指しています。これまでに53万台以上を販売した ear (1)の成功に続き、待望のスマートフォン製品 Nothing Phone (1)を7月13日（日本時間）に発表します。

ロンドンに本社を置く Nothing は、GV（旧 Google Ventures）、EQT Ventures、C Ventures のほか、Tony Fadell（Future Shape 代表、iPod の発明者）、Casey Neistat（YouTube タレント、Beme の共同創設者）、Kevin Lin（Twitch の共同創設者など個人投資家から支援を得て、非公開会社として活動しています。）

イメージ画像